

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校

総務部

第 125 号

2015.01.30

就職内定 11 年連続 100%達成
沖縄修学旅行・応援団実技発表会
高校総体山岳スキー部 5 連覇
あけぼの支援学校に教材引渡し

就職内定 100%達成<平成 16 年度より 11 年連続>

今年度も、昨年 12 月 1 日に就職内定率 100%を達成しました。景気の緩やかな回復と人材不足などを受けた企業の採用意欲が高まり、高校生の採用にも明るい兆しを感じていました。しかし、生徒には就職戦線に対する危機感をもたせ、今年度も面接指導・学習指導に重点を置き、昨年以上の時間を確保して就職指導を進めました。就職戦線がスタートし、生徒たちは次々と内定を勝ち取りました。一次応募の合格率は 92%を超え、ここ数年では一番良い、素晴らしい結果を得ました。生徒の日頃からの積極的な取り組みが評価されたと思っています。

企業は「厳選採用」を進めています。資格、学習、校内外の諸活動などのアピールポイントは重要です。1、2 年生も自分を高める取り組みを続け、やがて来る就職・入学試験に向けてがんばって欲しいと思います。

楽しかった沖縄修学旅行

12 月 14 日から 3 泊 4 日の日程で、沖縄本島への修学旅行が実施されました。2 年生全員が全行程に参加し、無事に帰校できたことが何よりでした。

世界遺産や平和学習としてのひめゆりの塔、平和祈念資料館の見学等を通して、沖縄の文化や歴史、戦争の悲惨さと平和の尊さを、身をもって感じてくれたのではないかと思います。また、体験王国むら咲むらでは、一人ひとりが選択して沖縄の文化や伝統を体験、



班別タクシー研修では、事前に調べ・計画した内容に従って、思い思いの場所に行き、沖縄の歴史や自然と触れ合うことができました。

山梨とはかなり違う風土や文化、悲しい歴史などを学んだことは、生徒にとって貴重な体験であり、普段机を並べて一緒に勉強している仲間との修学旅行はとても楽しかったと思います。



応援団実技発表会

12月21日、山梨学院大学メモリアルホールにて第7回山梨県高等学校応援団発表会が開催されました。今年度は過去最多の10校の応援団が参加しました。本校応援団もこの発表会は5回目の参加です。委員会活動であり、限られた時間でしたが、団員一人ひとりが一生懸命取り組み、



満足のいくステージとなりました。応援団は、各部の活躍を応援するため、生徒を代表して先頭に立ってきました。活動は地道な努力の積み重ねであり、試合をしている仲間と同じだけ歯を食いしばった努力なくしては“伝わる”応援はできません。今年度の応援団15名は、今までに無い程の努力を重ねてきました。この良い応援活動を次期に繋げ、より一層韭工生が活躍できれば良いと思います。当日、ご来場下さいました関係者の皆様、そして日頃より活動を支えて下さっている皆様に深く感謝申し上げます。

県高校総体スキー部5連覇



1月7日～9日、長野県霧ヶ峰高原クロスカントリー競技場において、県高校総体冬季大会スキー競技が開催されました。山岳スキー部から8名の選手がクロスカントリー競技に出場しました。選手たちは、夏は山で体力作りをして、冬には長期合宿で体力、技術を身に付けます。10kmフリーで安藤翔平、10kmクラシカルで篠原正輝、団体でリレーが

それぞれ優勝し、総合優勝することができました。関東大会、全国大会でも活躍していただけることを期待します。応援ありがとうございます。

あけぼの支援学校に教材教具引渡し

1月21日、あけぼの支援学校に木製の教材・教具を贈りました。これは、あけぼの支援学校から6月に依頼があり、3年生の「課題研究」の授業の中で製作し、贈呈するというもので、今年で17年目を迎えます。授業で学んだ技術を活用し、安全面に工夫をし、障害を持つ子どもに合わせた椅子や机、遊具等を製作しています。電子機械科4名と電気科7名の木工班が担当し、教材・教具のイメージをつかむため、昨年7月に交流もしました。高さを調整できる机の製作では、全国溶接大会2位の電子機械科の瀬川君に机の脚を製作してもらいました。インフルエンザの関係で、引き渡し式に生徒は参加できず、教員が教材・教具20点を届けました。子ども



たちの体に合わせたデザインが特徴であり、製作した生徒達は「安全面に配慮した」、「使いやすいよう工夫した」、「大切に使用してもらえればうれしい」と話していました。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp